

伊藤義郎会長 キング オラフ トロフィーを受賞

広報部



キング オラフ トロフィー

バンクーバーオリンピックの閉会式が終って間もなくの3月12日、ノルウェーの首都オスロから日本スキー界にビッグニュースが飛び込んできた。

永年FIS副会長、SAJ、SAH、SASの会長を歴任する伊藤義郎氏にノルウェースキー協会から「キング オラフ トロフィー」が贈られたというもの。この賞は、1992年ホルメンコーレンジャンプ大会で長年に亘り選手として活躍したノルウェー国王オラフ5世（1903-1991）を称え創設されたもので、国際的にスキーの振興と発展に大きく貢献し、卓越したリーダー、指導者に与えられるものです。欧州以外の人物が受賞するのは初めてのこと。

世界で9人目の名誉ある受賞となりました。

このトロフィーは、ホルメンコーレンに設置されている銅像を模したもので、愛犬のプードル「トロール」を伴い、ノルドマルカの森をクロスカントリーでスキー旅行するオラフ5世国王を表現している約10キロほどもある鉄製の立派なものである。

伊藤会長は、1972年の第11回札幌冬季オリンピック、1998年の第18回長野冬季オリンピック、2007年ノルディックスキー世界選手権札幌大会、長年に亘る宮様大会への貢献、FIS副会長として今回のバンクーバー冬季オリンピックの運営に貢献したことなどが評価されたもの。

4月2日札幌グランドホテルで開催された受賞祝賀会には、道内・外のスキー関係者、政財界からの著名人など約200人がお祝いに駆けつけ、参加者には授賞式の様子が写ったプログラムが配られました。

祝賀会は萬崎由美子HBCアナ（道連技術員）の司会でスタート。伊藤会長夫妻が大きな拍手で迎えられ、ひな壇へ……



左 高橋知事、右 上田市長がお迎え

まず、佐藤宣男札連副会長から受賞の経緯が説明され、同時に会場内にはオスロシティールホールで行われた授賞式の様子が映し出されました。主催者側を代表して小林俊勝道連副会長が挨拶。続いて高橋北海道知事、上田札幌市長等が祝辞を述べ、このあとの花束贈呈はバンクーバーオリンピック選手団の旗手を務めた

ジャンプの岡部選手、ノルディックスキー女子クラシカル30kmで5位入賞の石田選手から贈られ、場内は大きな拍手に包まれました。



萬崎アナ



岡部・石田両選手から花束贈呈

この後、伊藤会長からお礼の言葉が述べられました。会長は「日本に最初にスキーを伝達して頂いた国であるノルウェーからこのような名誉ある賞をいただき感激しています。」と受賞の喜びを語り、授賞式の様子や1級を取得した時の苦労話、札幌オリンピック当時の話題などを交え、スキー連盟関係者や長年協力してくれた企業などにお礼の言葉を述べました。



謝辞を述べる伊藤会長

続いて祝電の披露があり、FIS、SAJはもとより皇室からも祝電が寄せられ、伊藤会長の長年に亘るスキー界への大きな功績が偲ばれました。祝杯は、池上三紀SAJ専務理事が声高らかに乾杯の音頭をとり、懇談へ……………



声高らかに乾杯!!

会場には、今回のバンクーバーオリンピックノルディックスキー選手団の他、フランス料理界の巨匠、三国シェフなど有名人の姿もチラホラ・・・伊藤会長の幅広い人脈が伺える楽しい祝賀会となりました。



トロフィーを囲んで

宴もたけなわとなった頃、お祝いのスピーチが始まり、トップを切って笑顔で壇上に登場したのは、ジャンプの雪印乳業原田監督。

ユーモアたっぷりにお祝いのスピーチ、続いて東京美装の阿部コーチ、JR北海道、土屋ホームの代表者が次々とお祝いの言葉を述べ、場内から大きな拍手が贈られました。

締め乾杯は吉田肇道連副会長が声高らかに杯を掲げ宴を締めくくりました。

伊藤会長おめでとうございます。

北海道スキー指導者協会会員一同心よりお祝い申し上げます。



ノルウェー国王 ハーラル5世と会長

**伊藤義郎会長 キング オラフ トロフィー
受賞祝賀会**

Celebration to commemorate Mr. Ito's award of the King Olav Trophy



トロフィーと伊藤義郎会長 (供養通信 提供)
Mr. Yoshiro Ito with the Trophy

日 時 平成22年4月2日 (金) 18時から
場 所 札幌グランドホテル 2階 金枝の間
Date: Friday, 2nd April 2010 at 6:00 pm
Place: Sapporo Grand Hotel 2F "Kinshi"

財団法人北海道スキー連盟 財団法人札幌スキー連盟
Ski Association of Hokkaido Ski Association of Sapporo